

# 平成30年度 第2回江南市都市計画審議会 議事録

1. 日時 平成30年10月5日（金） 午後3時～午後4時30分

2. 場所 江南市役所3階 第3委員会室

3. 委員 出席委員13名

（東義喜、稲山明敏、幅章郎、高橋政稔、坪内一紀、松永金次郎、鶴見正高、  
加藤幸治、伊藤由香、倉知正憲、小椋雅江、安達秀正、藤岡和俊）

4. 傍聴者数 0人

5. 資料

●資料1 議題（1） 尾張都市計画生産緑地地区の都市計画変更について  
（付議）

- ・ 事前説明からの変更箇所
- ・ 尾張都市計画生産緑地地区の変更について（回答）
- ・ 尾張都市計画生産緑地地区の都市計画変更について（付議）
- ・ 尾張都市計画生産緑地地区の変更（江南市決定）
- ・ 変更状況調書、箇所別調書
- ・ 生産緑地地区の変更理由書
- ・ 計画図
- ・ 都市計画策定の経緯の概要

●資料2 議題（2） 平成30年度の都市計画変更について（事前説明）

- ・ 尾張都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（尾張都市計画区域マスタープラン）の改定について（県決定）
- ・ 尾張都市計画区域区分（市街化区域と市街化調整区域の区分）の変更について（県決定）
- ・ 尾張都市計画 用途地域の変更、尾張都市計画 防火地域及び準防火地域の変更、尾張都市計画 布袋駅東地区計画の決定について（市決定）
- ・ 尾張都市計画下水道の変更について（市決定）

●資料3 議題(3) 江南市都市計画マスタープラン及び江南市緑の基本計画の改定について(事前説明)

- ・江南市都市計画マスタープラン及び江南市緑の基本計画の改定について
- ・江南市都市計画マスタープラン(案)
- ・江南市緑の基本計画(案)
- ・年度別策定の流れ(平成30年10月時点) ※参考資料

●資料4 議題(4) 新ごみ処理施設に関する構想段階評価書の公表及び都市計画の概略の案について(報告及び事前説明)

- ・新ごみ処理施設に関する構想段階評価書の公表及び都市計画の概略の案について
- ・尾張都市計画ごみ処理場(一般廃棄物処理施設)尾張北部環境組合ごみ処理施設(仮称)整備事業に係る構想段階評価書の案についての意見書の意見の概要及び都市計画決定権者の見解
- ・尾張都市計画ごみ処理場(一般廃棄物処理施設)尾張北部環境組合ごみ処理施設(仮称)整備事業に係る構想段階評価書 ※要約書も含む
- ・東三河都市計画ごみ処理場(一般廃棄物処理施設) (仮称)豊橋田原ごみ処理施設整備事業に係る都市計画の概略の案 ※見本

■会長あいさつ、市長あいさつ

●議題(1) 尾張都市計画生産緑地地区の都市計画変更について  
(事務局) ~資料1に基づき説明~

(委員) 買取申出の取り下げについての説明がありましたが、市及び県が買い取らないとの結果になって、農業委員会に斡旋中の時に取り下げがあったとのことでしたが、どうしてこのようなことになったのでしょうか。後から生産緑地をもっと所有していたことに気がついたということですか。

(事務局) もともと複数所有していた生産緑地の土地の一部に対する買取申出で、残りの生産緑地については営農していただく予定でしたが、他の土地も買取申出をさせていただきたいとのご相談があった為、今回のような手続きに至りました。

(委員) 農業委員会の斡旋中に判断をしたということですか。

(事務局) 行為制限が解除になる前でしたので、買取申出自体を無かったことにして、改めた内容でもう一度買取申出をしていただく形としました。

(会 長) 議題(1)「尾張都市計画生産緑地地区の都市計画変更について」ご異議ありませんか。

(委 員) 異議なし

(会 長) 全会一致で原案のとおり可決とします。

■議題(1) 尾張都市計画生産緑地地区の都市計画変更について(答申)

■市長あいさつ

●議題(2) 平成30年度の都市計画変更について(事前説明)

※議題(2)については、江南市都市計画課及び下水道課にて、説明及び質疑応答を行った。

(事務局) ~資料2に基づき説明~

(委 員) 尾張都市計画区域マスタープランの基本的事項として、基準年次を平成30年として概ね20年後の都市の姿を展望したうえで都市計画の基本的方向を定めましますとありますが、市街化区域の規模などは平成42年を目標年次とするとあります。今年度江南市は布袋駅の東側の2.1haを市街化区域に編入しようとしています。この2.1haだけではなく、将来的にはもっと市街化区域に編入していくという話を聞きます。残りの箇所については随分先になるということですか。

(事務局) 平成30年度については2.1haを先行して編入し、布袋駅東地区全体の42haの面積についても将来的に編入していきたいと考えています。尾張都市計画区域マスタープランは、愛知県が尾張都市計画区域全体をみて市街化区域の規模について計画するものになります。計画自体は概ね20年後の都市の姿を展望していますが、市街化区域の規模については概ね10年後を目標として定めていくものです。

(委員) 今後はもっと市街化区域に編入したい箇所についても考えて基盤整備をしたいと思います。平成42年を考えているとのことでしたが、次に市街化区域に編入されるのは箇所については、平成42年まで待たなければならず、この10年間は何もできないということでしょうか。

(事務局) 昨年度の都市計画審議会でお示した「布袋駅東地区まちづくり基本構想」の中で、基盤整備がある程度まとまった時点で、段階的に市街化区域へ編入することを記載しています。具体的な年度についてはまだ決まっていますが、地域の方のご意見等と調整しながら検討を進めたいと思います。

(委員) その主導権は県か市のどちらにあるのですか。

(事務局) 決定行為自体は県が行いますが、市から言い出す形となります。

(委員) もっと市が熱心に言わないといけないのではないのでしょうか。徐々にやるという意味は分かりますが、結局のところ熱心さが伝わってこないところがあります。この地域は今後の江南市の核となる場所だと思います。市からもっといろんな手段を使って県に言わないといけないのではないのでしょうか。流れに沿って進んでしまうと10年スパンの考え方になってしまいます。その考え方が良いか悪いかは別として、布袋駅周辺には沢山の事業が行われており、布袋はこんなに変わっているんだということを他の地域の方にも示して欲しいです。これからは10年の期間に捉われることなく、なるべく早く市街化区域への編入を進めてほしいと思います。

(事務局) 今回編入を予定している2.1ha以外の場所でも都市計画道路の整備を進めているほか、10mの幹線道路などの都市計画道路以外の道路についても、2.1ha以外の場所で整備していきます。そういった基盤整備が整うと市街化区域へ編入できるようになります。

(事務局) 補足の説明をさせていただきます。先ほどの区域マスタープランのご質問についてですが、区域区分の決定の有無および区域区分を定める際の方針の中に、人口は漸減するが社会増・世帯分離等により世帯数は増加する見込みであるため、新たな住居系市街地が必要であるといった旨の記載があります。平成30年度末に行う2.1haの市街化区域編入の後については、段階的に市街地整備を進めながら、市街化区域を広げたいと考えています。今回の区域区分の変更については、第6回総見直しのタイミングのものです。計画的な市街地整備等の見通しが明らかになった場合には、第6回総見直し後も区域マスタープランに沿って随時市街化区域に編入する方針を県が示していますので、市もそのよう

な形で進めていきたいと考えています。

(委員) 下水道の計画変更についての新旧対照表がありましたが、今回市街化区域が 2.1ha 増えることにより、区域を 735ha から 737ha に変更するとありますが、処理分区は変更しなくてよいのでしょうか。

(事務局) 江南市の下水道事業については、市街化調整区域を含めた全体で計画されています。この布袋駅東地区については南部処理分区として、もともと計画していますので、処理分区の区域界の変更は必要ありません。

(委員) しかし、今回 735ha から 737ha に増えるということは市街化区域が増えるということで、内訳としては市街化調整区域が減って市街化区域が増えることについての変更は必要ないのでしょうか。

(事務局) 下水道基本計画については、今後修正が必要になってきます。

●議題(3) 江南市都市計画マスタープラン及び江南市緑の基本計画の改定について  
(事前説明)

(事務局) ~資料3に基づき説明~

●議題(4) 新ごみ処理施設に関する構想段階評価書の公表及び都市計画の概略の案について(報告及び事前説明)

※議題(4)については、江南市環境課、尾張北部環境組合にて、説明及び質疑応答を行った。

(事務局) ~資料4に基づき説明~

(委員) 構想段階評価書に計画施設の配置案がありますが、この地域の風向きについてはどうなっているのでしょうか。強風や台風は別として、該当する地区の南側には住宅があるかと思えます。

(事務局) 構想段階評価書の中に、平成28年度の結果にはなりますが、古知野町の測定局での風向・風速を図に示しています。北西方向から吹く風が一番強いという結果になっています。風下は南東になりまして、割合としては約16.5%となっています。

(委員) 縦覧時に提出された意見で、事業の区域内に地元住民の土葬の墓地があり、どうなるのかという意見があります。この意見に対する都市計画決定権者の見解として、事業に必要な位置であるため関係者と協議をする旨を記載されていますが、今回の事業実施想定区域を示す案については、このようなことを考えられずに出された案になると思います。構想段階評価書に記載のある工事計画の概要では、造成工事が平成33年度から予定されており、まだまだ時間があります。現状の協議状況はどうなっているのかということと、場合によっては、施設の位置がいずれ変わってしまうことも想定されるのかをお聞きしたいです。また、搬入道路について、南側に位置する県道浅井犬山線の拡幅しかないとの意見も出ていますが、この意見に対して具体的にどのようなことを考えていますか。

(事務局) まず墓地の件についてですが、北浦地区の中央エリアは事業を実施するために必要な区域として考えていますが、埋葬の墓地があるという現状です。先日、関係者の方々に対して墓地移転に向けた説明会を実施したところです。その中で、墓地移転に向けた説明をさせていただいて、移転に向けた書面での同意をいただいているところです。今後も色々なご意見があると思いますが、ご理解に向けて努力していきたいと思います。施設については南側に配置しており、おおよその大きさとはなりますが、処理方式もまだ決まっていないので、大きく示しています。位置については南側を中心に考えていきたいと思っています。また、搬入道路の関係ですが、北部には宮田導水路があるため、南側の県道の方から入る形を中心に考えています。

(委員) もし墓地が残った場合でもこの位置なら事業がやれるという前提で進めているといった理解でよいですね。施設の大きさからしても、南側に配置すれば問題ないということですね。ごみ処理施設の東側を国が防災拠点として整備すると聞いていますが、搬入道路については防災拠点と一体となった搬入道路となるのか、ごみ処理施設だけのために搬入道路を設けるのでしょうか。

(事務局) 東側の地区については国土交通省木曾川上流河川事務所で防災拠点としての整備を予定しているとお聞きしていますが、東側の地区と同一の進入路は考えていません。ごみ処理施設が建設される中央エリアとしては、安全に搬入出できることが大前提となります。南側に県道がありますので、他に何本も造ることの想定はしていません。

(委員) 構想段階評価書に施設の完成予想図のようなものがありますが、煙突の高さが非常に高く感じますが、この高さを想定しているのでしょうか。

(事務局) 航空法の関係で 60m 未満の制限があるため、59m の高さが一般的です。お示しているものは 51m の案となり、通常よりは 8m ほど低い高さのものになっています。建物の中に煙突が隠れるような場合もありますが、煙突の高さとしては一般的なものと考えています。

(委員) 建物の高さや煙突の高さの予想図として示されたということですか。

(事務局) 高い建物の中に煙突が埋もれてしまうということもありますので、それは景観上のこととして、今後検討されることとなります。

(委員) ごみ処理施設で発電をした場合、2000kw 以上だと高圧線と鉄塔が必要になると思いますが、周辺に高圧線や鉄塔を設置する計画があるのか、発電量を 2000kw 以下に抑えるのか、何か考えはあるのでしょうか。

(事務局) この規模のごみ焼却場になると、発電が可能な規模となりますので、売電可能な電力が生まれてくるのが想定されます。しかし、鉄塔をどこに設置するかなどについては、今後電力会社との相談のうえ、決定することとなります。

(委員) まだどうなるか未定ということではなかったですか。

(事務局) どこかに鉄塔は必要になるかと考えています。

(委員) 発電能力をできる限り大きなもので考えているということですか。

(事務局) 無理やり発電量を上げるということではなくて、自然と発電できるものについては有効活用するということです。

(委員) 近くに鉄塔が建つ可能性があるということですね。

(事務局) 近くかどうかは分かりませんが、可能性は高いと思います。

(会長) 先ほどの煙突の話に関連しますが、自衛隊の航空法についてもクリアしているということなんですね。

(事務局) 航空法では、自衛隊の滑走路の標点から 4 km 以内の建物等の高さは標点の高さから 45m 以内と決まっています。従って、自衛隊の基地とごみ処理施設の地盤面が同じ高さであれば煙突の高さは 45m までしか建ちません。しかし、現時点では、自衛隊の高さの方が 6 m 高く、中般若が 6 m 低い為、45m プラス 6 m

で51mということになります。

(会 長) 近くにはすいとぴあ江南もあり、気になりましたが、クリアしていれば結構です。

■平成30年度第2回江南市都市計画審議会終了

(事務局) 平成30年度第3回江南市都市計画審議会は、平成30年12月に開催予定